

十二月十二日 日曜日 曇 九度

一、左記文書受付

国民学校校長宛一 青年学校校長宛一

一、来校者 川北先生、山崎先生、秋山氏

十二月十三日 月曜日 晴 十度

一、初一、二、三 授業開始

一、非農家児童ヲツレテ池田シ、橘川、池田タ、大塚、安藤、比留川、加藤松

ノ諸先生 寺尾部落へ奉仕ニ行カル

一、机受取ノタメ左記 伊セ原町原商店出張

大矢、橘川、池田重

十二月十四日 火曜日 晴 十五度

一、来校者 初一児童 上岡 父授業参観ノタメ

一、田中、鹿島先生 配給ノート受取りノタメ午後藤沢ニ出向サレル

十二月十五日 水曜日 晴 十五度

一、来校者 田中先生執務ノタメ

大和郵便局長 三浦氏

十二月十六日 木曜日 雨

一、来校者 役場加藤氏

十二月十七日 金曜日 晴後曇

一、本日 高等科 航空隊ノ稲刈作業

初五・六 疎開五・六 豆取入 全部講室ニ納ム

一、校長先生 地方事務所出張

十二月十八日 土曜日 曇後雨 八度

一、校長先生 座間校ニ於ケル郡評議員会ニ出席

一、来校者 初一父兄一名

十二月十九日 日曜日 十七度

一、文書受付

国民学校校長宛一

十二月二十日 月曜日 十四度

一、高等科 航空隊ノ稲刈作業

井上、橘川、池田武、鈴木、比留川先生引率

一、校長先生 等間先生葬儀ノ件ニツキ海老名校へ

一、来校者 疎開転入児童父兄一名 役場田戸氏

十二月二十一日 火曜日 十三度

一、疎開父兄会慰問来村

一、来校者 吉村氏 初一父兄一

備考 青校学校ノ高橋君同宿ス

十二月二十二日 水曜日 晴 十五度

一、校長先生 松根油採取協議会ニ地方事務所ニ出向サル(午前九時)

一、初四 郷土觀察ニ寺尾ヨリ国分ニ行カル

一、高等科 麦播作業(大上実習地)

一、来校者 比留川貢氏(入営挨拶)

松根油採取

松の根や枝を蒸し焼きにして油をとること。太平洋戦争が激しくなると航空機燃料が不足し、政府は、あらゆる人々に松根油を増産するよう指示しました。綾瀬村には還流金が四基も建設され、原油やタールを生産していました。

十二月二十三日 木曜日 晴

一、五社神社新嘗祭(后後一時早川児童参列)

一、来校者 石井伴七先生(履歴ノ件ニツイテ)

疎開児童

校舎ノ戸締ノ破損箇所ハ一刻モ早く修繕シタイト思フ

十二月二十四日 金曜日 晴

一、報徳教育研究発表会(足柄上)

井上、橘川、池田武、大塚ノ諸先生出向サル

一、来校者

綱島 内田ク、宇留志ノ諸先生

一、 十一時五十七分 警戒警報発令

十二時 十五分 空襲警報発令

午後三時 三分 空襲警報解除

午後五時 三十分 警戒警報解除

一、夜 青校増産隊班長会議裁縫室ニテ開催セラル

十二月二十五日 土曜日 曇 十四・五度

一、警戒警報発令 十一時 三十分

同 解除 零時五十六分

一、軍人援護教育状況発表(藤沢第一校)

安藤先生出向サレル

一、来校者 役場加藤氏

入営ニ当リ挨拶ノタメ産組ノ渋谷氏外三名

十二月二十六日 日曜日 晴 十六度

一、警戒警報発令 十三時 四分

// 解除 十五時四五分

一、收受文書

学校長宛三通 青校長宛三通

備考 警戒警報発令ニツキ、加藤ヤエ、西山茂登子日直補助ヲナス

十二月二十七日 月曜日 曇後雨

一、警戒警報発令 ○時 五分

空襲警報 ○時五十四分

// 解除 午后三時 五分

警報解除 // 三時三十一分

一、来校者 山田氏

十二月二十八日 火曜日 雨後晴

一、警戒警報発令時に於ける退校訓練を各部落別に行ふ(第二時間目) 又各部落担任を定む

一、来校者 転入児童金田父子六人

十二月二十九日 水曜日 晴 十五度

一、渋谷校ニ於テ疎開教育懇談会アリ 校長先生、杉山先生出席(午前)

一、藤沢警察署ニ於テ防火デーニ関スル打合会アリ 橘川先生出席(午後)

一、高等科児童(寺尾 上土棚 中上) 集団勤労奉仕ヲナス

一、初六男 栗始末、初六男女 豆干作業

備考

空襲警報発令時

第一回 二十八日午後十二時 三十分 警戒発

〃 〃 午後十二時 四十分 空襲発

〃 〃 二十九日午前二時 五十分 空 解

〃 〃 午前三時 十五分 警戒解

第二回 午前三時五十四分 警戒発

〃 〃 四時 十二分 空襲発

〃 〃 五時 十五分 空 解

〃 〃 六時 十分 警戒解

十二月三十日 木曜日 雨 十度

一、来校者 途中入学者父兄一名

十二月 一日 金曜日 雨 八度

一、大日本教育会神奈川県支部高座郡分会結団式ヲ座間国民学校ニ於イテ挙行(十二時半) ニツキ、井上、池田武、橘川、鈴木、大塚、早川、川北、比留川、加藤マ、内田、宇留志ノ諸先生出向サル

一、校長先生令息御入営ニツキ、井上、橘川、池田武先生見送ラル

一、池田重先生 藤沢地方事務所ニ出向サル

一、来校者 第二相模野航空隊水兵 綾瀬神社地鎮祭招待状ヲ持チ来ル

転出児童 父兄一

十二月 二日 土曜日 曇 十三度

一、来校者 富永先生 電話使用ノタメ

十二月 三日 日曜日 十三度

一、警報発令時

警戒発 一時三十五分

空襲〃 一時 五十分

〃 解 三時五十二分

警戒解 四時三十一分

一、来校者 警報発令ニツキ全職員、役場加藤氏 綱島隆三氏 高二女生父兄
備考 警報発令ニツキ加藤松枝日直補助

十二月 四日 月曜日 十五度

一、高等科児童 早川、吉岡、深谷、本蓼川部落ニ勤労奉仕

十二月 五日 火曜日 十四度 晴

- 一、新磯校地理指導会ニ校長先生、田中先生、西沢先生出向サル
- 一、来校者 加藤氏（供出綿整理ノタメ）

十二月 六日 水曜日 曇 十三度

- 一、警戒警報発令 ○時一四分
- 〃 解除 一時三〇分

(B29一機 ○時三十二分帝都上空ニ表ハレ東進セリ)

- 一、来校者 役場加藤氏

- 一、后八時二〇分 左記電話アリ（海老名校ヨリ）

「七・八・九日三日間空襲ノ恐レアルニ付キ登校停止ノコト」

- 一、七日午前警報発令（備考）

備考

警報発令時

警発 一、三六

空発 一、四五

空解 三、一〇

警解 四、〇七

十二月 七日 木曜日 曇

- 一、教育会郡支部役員会ノタメ校長先生出向サル（茅ヶ崎第一 午前九時）

- 一、空襲ノ恐レアルタメ児童登校停止

- 一、職員防空壕掘作業ナス

- 一、弔問使来村 上土棚石井氏方（午前九時）

- 一、池田タ先生 地方事務所出張サル

一、警報発令 第一回 第二回

警戒警報発令 五、四五 二、〇七

空襲 〃 〃 六、一〇 二、二〇

〃 〃 解除 六、五七 三、一六

警戒 〃 〃 七、一六 三、四六

備考 空襲頻リナルタメ矢部弥市同宿ス

十二月 八日 金曜日 晴午後曇

- 一、前日ニ引続キ児童登校停止

- 一、職員防空壕掘、干草ノ整頓

- 一、警戒警報発令 十二時

〃 十四時四十分

- 一、九日 警戒警報発令 三、一〇 同解除 三、五六 異常ナシ

備考 警戒ニツキ佐藤政子補助 同様大塚茂同宿ス

十二月 九日 土曜日 晴

- 一、七・八日ニ引続キ児童登校停止

- 一、警戒警報発令 九時四十五分

- 一、警戒警報解除 十時二十分

- 一、来校者 綾瀬郵便局長

- 一、勤労働員ノ件ニツキ綾瀬郵便局長ノ来校ヲ願ヒ午前中学校長受持ニテ事前

連絡協議会ヲ開ク

- 一、警戒警報発令 午后八時 四分

同 解除 八時四十九分

備考 補助アルハ空襲ノ恐レアルタメ

十二月 十日 日曜日 晴

- 一、空襲ノ恐レアルタメ全職員出勤サル
- 一、内務省ヨリ馬料ヲトリニ来ル

午後 午前

一、警発 七、二五 三、〇〇 ?

空発 八、一〇 三、二〇

// 解 八、四八 三、五〇

警解 九、〇二 三、五八

備考 補助アルハ空襲ノ恐レアルタメ

十二月十一日 月曜日

- 一、午後三時ヨリ総務会議開催サレ四時半終了ス

一、薄穂ノ整理ヲ高二男ニテ行ハル

一、来校者 入営兵二名 転入児童父兄二名

一、警発 一一、五〇 警発 二、二六

警発解 一、二二 警解 三、五〇

備考 補助ハ空襲ノ恐レアルタメ

十二月十二日 火曜日 晴

- 一、校長先生 藤沢第四国民学ニ於ケル校長会議ニ出席サル

一、井上先生、橘川先生 第二相模野航空隊ノ綾瀬神社地鎮祭ニ出席サル

第二回 第二回 第二回

一、警発 午後七、二七 九、二〇 午前四、三五

空発 // 七、四〇 九、二五

空解 // 七、五六 一〇、二〇

警解 // 八、〇七 一〇、四〇 // 五、〇〇

鈴木先生来校、校長先生来校同宿サル
(十三日午前六時頃マデ降雪アリ)

備考 補助ハ空襲ノタメ

十二月十三日 水曜日 十一度 雨後晴

- 一、校長先生 大和町葬ニ出向サル

一、警戒警報発令 一、〇八

空襲警報発令 一、四四

// 解除 三、〇七

警戒警報解除 三、五七

- 一、第二回警戒警報発令 午前二時 五〇分

解除 // 三時三十五分

備考 空襲ニツキ比留川笑子先生補助

補助ハ空襲ノ恐レアルタメ

十二月十四日 木曜日 十度 晴

- 一、高等科 稲上奉仕

一、職員常会アリ(午後二時)

警発 三、〇七

空発 三、一五

空解 四、〇三

警解 五、一八

備考 補助ハ空襲ノ恐レアルタメ

十二月十五日 金曜日 曇後雨 九度

一、校長先生 中部校長常会（海老名）ニ出向サル

一、高二男 稲穀作業行ハル

十二月十六日 土曜日 曇 九度

一、相模野航空隊神明神祠造宮地鎮祭ニ校長先生出席サレル

一、高二男及ビ職員ノ一部 稲穀作業ニ従事サレル

一、来校者 第二航空隊ヨリ幕ヲ借用ノタメ

入営者平出修平氏外六名挨拶ノタメ来校サル

備考 補助アルハ空襲ノ慮アル為ナリ

十二月十七日 日曜日 曇 六度

一、来校者 西沢先生、郵便局ヨリ貯金ヲ持ちテ

高二女二名

一、文書受付

校長宛三

備考 日直補助 鹿島孝子空襲ノ慮アル為

十二月十八日 月曜日 曇

一、来校者 第二航空隊ヨリ神岡氏（幕ヲ返シニ）

一、警発 〇、二五

警解 二、一〇

一、高二男及ビ職員ノ一部稲穀作業ニ従事サレル

一、警報発 一一、四五 同解 〇、四八 異常ナシ

十二月十九日 火曜日

一、高二女稲穀作業行ハル

十二月二十日 水曜日 晴

一、来校者 役場加藤氏 渋谷 田戸先生

一、警発 一〇、四五

警解 一一、一五

一、警発 午后 一〇時 警解 后二〇、三五分

十二月二十一日 木曜日 晴一時曇

一、村内ノ落穂拾ヒヲナス 各部落ニ分レ 初四以下及集団三・四年之ニ当ル

一、横須賀諏訪国民学校校長其ノ他三名程来校

一、本日ノ来校者 役場ノ加藤貞良氏

一、警発 午后九時一五分 警解 九時五五分

二十二日午前〇時一七分 警解 〇時五〇分

十二月二十二日 金曜日 晴

一、中部神宮大麻ノ領布式 五社神社ニ於テ午後一時ヨリ行ハレ 早川先生出向サル

一、午後 職員ニ於テ渡廊下ノ修理ヲ行フ

一、来校者 広文堂店主

一、午後零時十五分 警戒警報発令

午後二時 警戒警報解除

一、二十三日午前四時八分警発、同解五時十三分

備考 校長先生午后六時三十分マデ当直セラル 宿直会計済

十二月二十三日 土曜日 晴

一、高等科女生徒 校庭ニ敷藁ヲ製作シ之ヲ敷ク

一、来校者 見上氏 神山氏 転入児童父兄一

一、職員会計アリ

一、校長先生 茅ヶ崎第三国民校ニ疎開ニ関スル懇会ニ出席

一、二十三日 警戒警報発令 午后 九、〇〇

同 解除 // 一〇、一一 異状ナシ

十二月二十四日 日曜日 晴

一、第二相模野航空隊分隊長黒澤安壽氏来校サル

一、加藤栄子^{ママ}先生、山田先生来校

一、受付文書

公報一 校長宛一

(この日より日直二人、宿直二人になる)

十二月二十五日 月曜日 曇 六度

一、来校者 加藤松江先生

一、受付文書

厚木国民動員署一 其ノ他三

十二月二十六日 火曜日 晴

一、第四校時ヨリ大掃除行ハル

一、高等科女生 午前中奉仕ス

一、来校者 転入児童父兄二

十二月二十七日 水曜日 晴

一、高等科女生 勤労奉仕ヲナス

時

一、警戒警報発令 一二、〇〇

空襲警報// 一二、二一

空// 解除 一二、一八

警戒警報解除 一二、三四

一、警戒警報発令 一二、二〇

警戒警報解除 一二、〇五

十二月二十八日 木曜日 晴 十、五度

一、高一男、高女 勤労奉仕ヲナス(産業組合)

一、諏訪校先生三人来校

一、警発 后 三、二七 空解 五、〇〇

空発 三、四六 警解 六、〇〇

一、警戒警報発令 二〇、〇五

同 解除 二三、一二

十二月二十九日 金曜日 晴

一、第二校時 二学期末終了式挙行

一、職員常会及ビ会計アリ 午後 尚 大掃除ヲナス

一、本日ノ来校者 難波商店 自動車二台(綿)

一、警戒警報発令 二〇時三十四分

解除 二二時五十七分

十二月三十日 土曜日 晴 十二度

一、新倉二郎、峯尾久治氏入営挨拶ノ為来校ス
山田先生、加藤氏来校

一、受付文書

校長宛二、国民学校宛一、図書館宛一、

杷田先生宛一

十二月三十一日 日曜日 十度

一、来校者 比留川店主 海軍一ノ

一、受付文書

国民学校宛一、校長宛一、青年学校長宛二 女子青年団長宛一

警発 午后 九時四三分 一時五五分 午前五、二七

警解 一〇時一〇 一二、一五 五、五〇

昭和二〇年

一月 一日 月曜日 晴 十、五度

一、新年拝賀式挙行(前九時三十分)

一、来校者 村長外村内有志数名 拝賀式ニ参列ノタメ 峯尾タツ子先生

一月 二日 火曜日 晴 午前十時頃ヨリ風強シ 七、五度

一月 三日 水曜日 晴 十、五度

一月 四日 木曜日 晴 五度

一、第三学期始業式挙行

一、校長先生、橘川先生、池田武先生ニテ海軍建築部へ除草ノ連絡ニ行カル

四日 五日

一、警戒警報発令 后七時一〇分 前五時八分

// 解除 后七時四〇分 前六時〇分

一月 五日 金曜日 晴

一、来校者 初五男 府川義秀ノ父(転校ノタメ)

五日 六日

一、警戒警報発令 后 八、五〇 前五、三〇

同 解除 后二〇、三〇 前五、五〇

一月 六日 土曜日 晴後雪

一、会計事務打合会ニ池田重先生座間校ニ出向サル

一、来校者 新倉氏 田辺氏 転入児童父兄一

一、午后八時五〇分警戒警報発令 同九時三十分解除異状ナシ

一、七日午前五時十五分警戒警報発令同六時十二分解除異状ナシ

備考 来襲敵機 第一回 南海ヨリ数機

第二回 //

一月 七日 日曜日 晴

一、来校者 内野氏(元青年学校教諭)

一月 八日 月曜日 晴

一、大詔奉戴式挙行

一、校長先生 地方事務所ニ出向サレル

一、高等科児童及受持職員 海軍建築部へ勤勞奉仕

一、来校者 転入児童父兄二名

一月 九日 火曜日

一、高等科児童及受持職員 海軍建築部へ勤勞奉仕

一、来校者 転入児童父兄二名

一、警発 一、三五 空発 一、五五

空解 三、〇八 警解 三、二六

一、警報発令 前〇、四五 前四、四七 異状ナシ

// 解除 一、〇七 五、〇八

一月 十日 水曜日 晴

一、来校者 諏訪校長 加藤氏

十日 十一日

一、警戒警報発令 后八、一八 前二、三五

// 解除 后九、一〇 前二、五三

一月 十一日 木曜日 曇 七度

一、高等科男受持職員二名ニテ ラミール^{ミール}に奉仕(午前中)

一、午後三時ヨリ職員常会アリ

警発二〇、〇五 警発〇、四九 警発四、一〇

// 解二一、〇〇 // 解二、二五 // 解四、五五

一月 十二日 金曜日 晴

一、校長先生 校長会議ノタメ地方事務所ニ出向サル(午后一時ヨリ)

一、校庭ニ於テ体力章検定行ハル

一、来校者 入営者挨拶ノタメ一名 役場加藤氏

一月 十三日 土曜日 晴

一、来校者 諏訪校長、入営者挨拶ノタメ 役場加藤氏

一月 十四日 日曜日 十二度 晴

一、座間海軍建築部(二木)ヨリ疎開児童ノ燃料ヲトリニ来ル様電話アリ

松山先生宛

一、来校者 西山茂登子先生 加藤松江先生 愛原農産生徒一名(手紙持参)

海軍一名(電話借用)

一、公報号外二通、校長宛書留、其他

一月 十五日 月曜日 晴

一、午後青年団常会行ハル(於第三館)

一月 十六日 火曜日 晴

一、壮丁検査打会(午前九時ヨリ講堂ニ於テ)アリ

一、警報発 一〇、〇七

警報解除二〇、二四

一、職員ニテ放課後物置整理ヲナス

一、来校者 父兄田中正夫氏 其ノ他

一、警報発令 四、四三

//解除 五、〇六

一月十七日 水曜日

一、高二女十名 役場書記ノ手伝ニ行ク

一、来校者 児童父兄五名 難波氏 産組委員一名 綱島晴義氏

一回 二回

一、警戒警報発令 午前四時四十三分 九時四十分

警戒警報解除 午前五時 六分 一〇時十八分

一月十八日 木曜日 晴

一、中部校長会常会(本校)アリ

第二校時三校時授業参観サル

一、高二女数名 役場書記ノ手伝ニ行ク

一、来校者 中部校長先生

一月十九日 金曜日

一、警発 二、〇二

警解 三、五一

一月二十日 土曜日 晴 十三、五度

一、校長先生 郡教育会委員会(茅崎第一 前二〇)ニ出向サル

一月二十一日 日曜日 曇 六度

一、相模野航空隊神社竣工祭午前九時ヨリ行ハル

一、左記文書受付

国民学校長宛一 青校長宛一

一、来校者 西山茂登子先生 電話使用ノタメ

一月二十二日 月曜日 晴 十一度

一、麦踏作業実施 初四以上(部落分団別人員ニテ)

授業二時限打切り、東郷道路中心南北二分レ二団トナリテ午後三時ニテ終ル

一、皇后陛下御下賜品伝達式、諏訪校疎開児童へ、午前十時半音楽室ニテ挙式

右ノタメ諏訪校長、峯尾助役来校

一、警発 后七、四〇 警解 八、一〇 異状ナシ

備考 宿直料済 記事欄記載 伝達式へ井上訓導

学校長代理トシテ参列ス

麦踏み

春先に麦の芽を踏むこと。霜柱で浮き上がった土をおさえ、麦の根張りを良くするために行いました。

東郷道路

武者寄橋から綾瀬小学校に向かう道路のこと。東郷平八郎にちなんでつけられました。

東郷平八郎の先祖は渋谷氏とされ、鎌倉時代初期、渋谷氏の拠点の一つが綾瀬にありました。

これにちなんで、一九三二(昭和七年)、東郷元帥先祖の地という石碑がつくられ、道路にも、そのような名がつけられました。